公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌

かわさき アートニュース

Vol.262
2018年4月号
THE KAWASAKI FOUNDATION

02｜特集
能と狂言
人間国宝の競演
―友枝昭世と山本東次郎の至芸―
「生きるとは何か」を問う能の魅力
インタビュー：馬場あき子さん（歌人）

能「巴」
友枝昭世
撮影：あびこ写真店

狂言「通円」
山本東次郎
撮影：神田佳明

CONTENTS［目次］

04｜音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール　07｜歴史・文化 東海道かわさき宿交流館　08｜イベントレビュー
09｜特集 50周年を迎える ひとみ座乙女文楽　10｜美術 市内ギャラリー情報　13｜演劇 アルテリオ小劇場
14｜映画 アルテリオ映像館

能と狂言

人間国宝の競演

―友枝昭世と山本東次郎の至芸―

「生きるとは何か」を問う能の魅力

インタビュー／馬場あき子さん（歌人）

ゴールデンウイークに新百合ヶ丘を中心に行われる総合芸術祭「川崎・しんゆり芸術祭2018（アルテリッカしんゆり）」で、二人の人間国宝による能楽公演を開催します。

川崎市北部でも能・狂言を鑑賞できる機会がほしいという声から、川崎能楽堂に長くご出演されてきた当代一流の能楽師の先生に、特別に「アルテリッカしんゆり」にご出演いただくようになり、今回で10回目となります。

日本の代表的歌人でいらっしゃる馬場あき子さんによる公演前の解説は、能に親しまれている方、初めてご覧になる方のどちらにも好評をいただいています。

馬場あき子さんに、今回の公演の見どころと能の魅力についてお話を伺いました。

昔の人の言葉遊びが素晴らしい狂言「通円」

―― 今回の上演演目について、見どころをお聞かせください。

今回は、非常に対称的な面白い演目が並んでいます。

狂言「通円」は、「頼政」という能のパロディーです。

通円という名の茶人が「自分の一生で一番大きなお茶の場をつくろう」と思い立ち、宇治橋供養にやってきた仏教者たち300人全員にお茶を振る舞うという大決意をしました。

通円の亡霊の面をつけ、独特の頭巾をかぶり、茶碗と茶筅を持って柄杓を腰に、手には団扇をもって、通円は登場します。でも、これは本人ではなく幽霊です。300人にお茶を点てるなんて、容易なことではありませんね。通円はお茶を点て過ぎてあまりに疲労し、300人目にお茶を点て終わったとき、亡くなってしまったのです。そういう名誉ある通円のお茶を点てる様を再現して舞ってみせるという狂言なんですね。

能「頼政」では、源頼政の幽霊が、平等院で以仁王を守って討ち死にした合戦の有様を再現して舞う場面があります。

頼政は戦って死んだ、通円はお茶を点てて死んだ。そのパロディーとしての言葉遊びが非常に素晴らしく、「頼政」の詞章がそっくりそのままお茶の言葉に作り直されています。

今回、二つの詞章を対比して書いたものを観客の皆さんにお配りしますので、併せてご覧いただけば、いかに昔の人に言葉の力があったかということがお分かりいただけると思います。

「通円」は、地謡（※謡の部分を何人かで謡うこと）もいる能がかりの狂言で、80歳になられた山本東次郎さんがこれを演じられるのは非常に大変なことだと思いますよ。

また、お茶を習っている人には一度は見ていただきたい狂言です。大変難しくめったに上演されませんから、この機会に是非、川崎のお茶人の方々に見ていただきたいと思っています。

誰が見ても楽しめる能「巴」

巴という名前はよくご存じでしょう。『平家物語』や『源平盛衰記』に出てくる女性で、どの本にも「色白で、美人で、黒髪が長々と後ろになびいていた。また、軍略に長け、個人の武勇にも長け、どんな坂道でも荒馬を上手に乗りこなすことができた」と書いてあります。また、木曽義仲の乳兄弟で、義仲の愛妾とも言われますし、ごく側近の女性だったということです。

源頼朝が送った義経の軍勢による「粟津の戦い」で敗北して木曽一家が絶滅しようとするとき、最後に残ったのが義仲と家族同然に育った今井兼平とその妹の巴でした。巴は義仲とともに討ち死に、または刺し違えてでも死にたかった。しかし、義仲は自害するとき、巴に向かって涙ながらに「お前は女だから故郷に帰って、自分たちがこのように壊滅したことを語り伝えてほしい」と諭したので、巴は一人故郷に帰って行く、そういう筋書きです。

最初に、巴の幽霊が美麗な女の姿で出てきて旅人と出会い、「貴方は私と同じ木曽から出た人だから、私の魂を弔ってください」と頼みます。

その後、巴の幽霊が再び衣装を変えて出てきます。幽霊といえども女武者ですから、非常に華やかな格好です。梨子打烏帽子に白鉢巻、緋の袴に唐織を壺折にした衣裳をつけて、刀を差し長刀を掻い込んでいます。そして「自分は義仲と一緒に死のうと思ったけれど、死ぬことを許されなかった。それがとても無念だ」と話します。

そして、義仲が討ち死にするまでのことを語り、長刀をもって舞ってみせます。

最後は、巴が白い水衣に着替えて黒の信楽傘を被き、義仲の形見の小太刀を胸に抱いて故郷に帰っていく場面となります。華やかな衣装から、白黒の衣装に変わる。その色の変化から、敗北して一人帰って行く女の悲しみが出てきます。

このように上演時間の短い能なのに、衣装とともに見どころが変化する面白さと、長刀を振う合戦の場面や、僧に回向を頼む場面、さまざまな場面に心にしみる哀れがあります。

初心者が見ても楽しいと思える、非常に見どころの多い能です。

狂言と能、両方とも選びに選んだ素晴らしい組み合わせだと思いますよ。

演目の見どころを語って下さる馬場さん

プロフィール

馬場 あき子（ばば あきこ）

日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多実に入門。新作能の制作も行い、「影媛」（国立能楽堂委嘱）は大好評を博した。日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

馬場あき子さんによる解説

アフタートークの様子（正面左から馬場あき子、友枝昭世、山本東次郎）

人間の質の美しさ

―― 今回、主役をなさる二人の能楽師についてお聞かせください。

お二人とも、人間国宝であり日本芸術院会員です。国家的な大きなタイトルを二つとれる方は、芸もすぐれているのは当然ですけれども、お人柄も立派な方々です。そうでなければ、すぐれた芸は生まれないわけです。

「通円」の関係でお茶の話をしますと、お薄（うす）を点てる手順は決まりがあって、誰がやっても同じ型です。では、皆がじっと先輩が点てる姿を見るのは何故でしょう。

「巴」も、友枝さんの「巴」だけでなく、今までにも、またこれからも、いろいろの能楽師の「巴」を見ることでしょう。何故、同じ曲目を繰り返し見るのでしょうか。

それは日本の芸術の鑑賞態度の一つの特色で、私たちは型からにじみ出る人間の質の美しさを固有の魅力として見ているのです。その人と芸がどんな質の美を持っているか、それが国宝なのではないでしょうか。

日本芸術院会員というのは、演技的なものも高い評価を得ていると思いますが、国宝というのは、人間的魅力や深み、その人が今まで修行してきたプロセスの中で培った人間的な質の高さを評価されての人間国宝であるんだと思います。

川崎の文化度の高さ

―― 川崎区に建つ川崎能楽堂では112回の定期公演を重ねてきました。川崎能楽堂が1986年に開館したときのことをご存じでしたらお聞かせください。

当時、川崎の市民のためになる、何でも上演できる演芸場を建てたいという話が持ち上がったとき、「いや、能楽堂を」という小さい声があがったような記憶があります。私自身は能のなかで育った人間ですから、それは素晴らしいと思い「演芸場で能はできないが、能楽堂なら落語、日本舞踊、お琴、管弦楽、なんでも緋の絨毯を敷けばできる」というようなことを言ったかもしれません。ならば、日本的で独自性の強い能楽堂が良いだろうという結論に達したのは喜ばしいことでした。

出来上がった能楽堂に初めて行ったときは、観客席が148しかないことにびっくりしました。でも、小さければ小さいだけ優れたものを近くで見ることができるということですし、市が文化的な援助をすれば良いのだと思いました。

今、全国でも能楽堂を持っている自治体はすごく少ないと思いますよ。ですから、このことは川崎市の誇りであり、先見の明の一つでしょう。

しかも、川崎能楽堂では148人にしか見せられないのに、30年にわたって100回以上も常に最高級のものを見せてきた。また、新百合ヶ丘での公演では沢山の人たちに超一級の方々の芸を見せる。こういう取組みはとても大事で、川崎市の文化度の高さを誇って良いと私は思いますね。

「面（おもて）」と「幽霊」

―― 馬場先生は喜多流の長年にわたる流友であり、新作能の制作も行っておられます。能の魅力についてお聞かせいただけますか。

能は仮面劇で、基本的には面をつけて舞うものです。では「面とは何か」というと、自分という人間を一度抹殺して、違う人間になることなんです。

歌舞伎はそのために隈取（くまどり）をしますね。能は、面をつけることで別人格になります。

能楽堂には「鏡の間」という場所があって、大きな鏡の前で面をいただいてつけ、座しているうちに面と人間が一体化します。

つまり、面と自分の魂を合体させる秘技みたいなものが能にはあるということです。

もう一つ面白いのは、能に登場する人物は全て幽霊です。どういう幽霊が能に登場できるのかというと、自分が生きた人生に執着を持っていて、「自分の人生は何だったのかをもう一遍問い直したい」と思っている人物です。そういう人だけが能に出てくるということも、「生きるとは何か」という課題につながってくるのではないかなと思って、非常に魅力的だと思いますね。

日本的なるものは何か

―― まだ能をご覧になったことのない方々に向けて、能を鑑賞するときのアドバイスがあればお願いします。

能というのは、わからなくてもいいんじゃないかと思います。なんだかわからないけれど、ぼやっとした不思議な雰囲気を感じて帰ればいいんです。けれど忘れがたいと思いますよ。

「綺麗だったな」でも、「かわいそうだったな」でも良いですし、なにか不思議なものを見たという感覚だけで、十分印象に残っていると思います。印象に残るものを見るのは、とても良いことです。たとえばお相撲さんに会ったときだって、「白鵬を見て触った、すごい」となりますね。でも、何がすごいのかはわかりませんよね。

友枝昭世の「巴」を見た、山本東次郎の「通円」を見た、ということが一つの印象として心の中に沈殿している、それだけで十分だと思います。また見たくなることが大事です。

商社マンなんかが家族と一緒に外国に派遣されて、現地の人に「日本の能とは何か、禅とは何か」と聞かれたときに何も答えられない、という話をよく聞きます。能、歌舞伎、茶、禅、そういうごく日本的なものを全部知らないまま死んでいくという人が多いのです。それを考えると、「日本的なるものは何か」という答えを自分が一つ持つために、能を見てほしいという感じがするんですよね。

世界が注目する能

―― 2020年に東京オリンピック・パラリンピックを控え、今後ますます世界の目が日本に集まってくるなか、能という伝統芸能がどのようになっていけば良いという思いはありますか。

それは盛んになるのが良いけれども、日本という国は自国の大切な芸能を援助しません。外国は国費を使って援助しています。本当は日本人が忘れて見ることもしない伝統芸能こそが世界的なものなんですよ。能は世界遺産に登録されています。

今の若手が一生懸命やっていますけれども、とても能を維持していく財力は足りないでしょう。衣装も現代の人たちは背が高くなっているから昔のものは着られなくなってきています。伝統の衣装を織る人も少なくなっています。一体、国家は日本という国をどういった形で残そうとしているのか、ということも問われるわけですよね。しかし、国が滅びても芸能は残ります。その怖さを皆知りません。それだから、我々が守っていかなければならないのです。

開催概要 Information

能と狂言
人間国宝の競演
－友枝昭世と山本東次郎の至芸－

[日時]平成30年**5月3日（木・祝）**
13:30開場　14:00開演
[出演]**解説**／馬場あき子
狂言「通円」／シテ 山本東次郎　他
能「巴」／シテ 友枝昭世　他
アフタートーク／馬場あき子
山本東次郎、友枝昭世
[会場]**川崎市麻生市民館大ホール**
（川崎市麻生区万福寺1-5-2）
小田急線新百合ヶ丘駅下車北口徒歩3分
[入場料]S席5,000円（※SS席完売）
[チケット取扱]
アルテリッカしんゆりチケットセンター
☎044－955－3100
（10:00～17:00、土日祝を除く）
※ただし4/1からは毎日営業
その他インターネット予約、川崎市内プレイガイドでも販売
[主催]公益財団法人 川崎市文化財団

ミューザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

各回好評発売中!!

ミューザ川崎シンフォニーホール＆東京交響楽団
名曲全集 2018-19前期シーズン

第136回｜4月22日(日) 14:00開演
［出演］指揮：ジョナサン・ノット　ファゴット：福井 蔵（東京交響楽団首席奏者）
［曲目］ロッシーニ：歌劇「絹のはしご」序曲　ロッシーニ：ファゴット協奏曲
　　シューベルト：交響曲第6番
［チケット］Ⓢ¥7,000 Ⓐ¥6,000 Ⓑ¥4,000 Ⓒ¥3,000 当日学生券¥1,000（要問合せ）

第137回｜5月19日(土) 14:00開演
［出演］指揮：カーチュン・ウォン　ヴァイオリン：郷古 廉
［曲目］ブラームス：ヴァイオリン協奏曲　ショスタコーヴィチ：交響曲第5番
［チケット］Ⓢ¥6,000 Ⓐ¥5,000 Ⓑ¥4,000 Ⓒ¥3,000 当日学生券¥1,000（要問合せ）

第138回｜6月10日(日) 14:00開演
［出演］指揮：小林研一郎　ピアノ：田部京子
［曲目］グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調　チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」
［チケット］Ⓢ¥6,000 Ⓐ¥5,000 Ⓑ¥4,000 Ⓒ¥3,000 当日学生券¥1,000（要問合せ）

第139回｜8月25日(土) 14:00開演
［出演］指揮：大友直人　ヴォカリーズ：小林沙羅
　　ヴァイオリン：大谷康子　ピアノ：横山幸雄
［曲目］モーツァルト：交響曲第41番「ジュピター」
　　萩森英明（1981～）：委嘱作品
　　羽田健太郎（テーマモチーフ：宮川 泰）：交響曲「宇宙戦艦ヤマト」
［チケット］Ⓢ¥6,000 Ⓐ¥5,000 Ⓑ¥4,000 Ⓒ¥3,000 当日学生券¥1,000（要問合せ）

第140回｜9月9日(日) 14:00開演
［出演］指揮：飯森範親
［曲目］ストラヴィンスキー：組曲「火の鳥」（1945年版）
　　ストラヴィンスキー：ペトルーシュカ（1947年版）
　　ストラヴィンスキー：春の祭典
［チケット］Ⓢ¥6,000 Ⓐ¥5,000 Ⓑ¥4,000 Ⓒ¥3,000 当日学生券¥1,000（要問合せ）

モーツァルト・マチネ 第33回

目にも耳にもおいしいプログラムを、実力派指揮者のタクトで。ポストホルンの前後に演奏されるように作られた2つの行進曲を添えたオール・モーツァルト・プログラムが、休日の朝を爽やかに彩ります。

［日時］4月28日(土) 11:00開演
［出演］指揮：高関 健　管弦楽：東京交響楽団
［曲目］〈オール・モーツァルト・プログラム〉
　　行進曲 ニ長調 K.335 第1番
　　セレナード 第9番 ニ長調「ポストホルン」
　　行進曲 ニ長調 K.335 第2番
［チケット］全席指定 3,500円　U25（小学生～25歳）1,000円

好評発売中!!

お申込み・お問合せ◉ミューザ川崎シンフォニーホール　［TEL］044-520-0200（10:00～18:00）　［チケットカウンター］10:00～19:00
［Web］ミューザWebチケット　http://muza.pia.jp/　ミューザ　検索

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

国境もジャンルも飛び越える、トロンボーンの猛獣（モンスター）たち

MUZAスペシャルナイトコンサート90

SLIDE MONSTERS

スライド モンスターズ

Featuring

中川英二郎、ジョゼフ・アレッシ、マーシャル・ギルクス、ブラント・アテマ〔4Trombones〕

"BEYOND" INSPIRED BY NEW YORK

世界的トロンボーン奏者によるスーパーユニットが誕生！

Special 90

常に新しいものを発信し続ける街、ニューヨークをルーツに持つ4人が、
クラシック、ジャズ、コンテンポラリーなど、ジャンルの枠を超えた「その先に」お連れします。

2018年5月9日（水）

19：00開演／18：30開場　20：30終演予定、途中休憩あり

会場：ミューザ川崎シンフォニーホール

出演：トロンボーン：
中川英二郎
ジョゼフ・アレッシ
マーシャル・ギルクス
ブラント・アテマ

曲目：トライセンス
（中川英二郎作曲）　他

チケット：（全席指定・税込）
3,500円［3,150円］
U25 1,000円（小学生～25歳）
※税込／［　］内は友の会会員料金
※ U25の友の会会員割引はありません

© 武藤章
中川英二郎
Eijiro Nakagawa

ジョゼフ・アレッシ
Joseph Alessi

マーシャル・ギルクス
Marshall Gilkes

ブラント・アテマ
Brandt Atema

SLIDE MONSTERSのメンバーによる管楽器ワークショップ〔クラシック⇔ジャズ〕開催決定！ 5月4日（金・祝）

主催・お問合せ：ミューザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）☎044-520-0200

2018年 4月 ミューザ川崎シンフォニーホール コンサートカレンダー CONCERT CALENDAR

「4月の催し」

＊チケット料金、残席情報等は各公演のお問い合わせ先までお尋ねください。

---

1 日 13:30

第81回 全国大会 JASTA STRING FESTIVAL 2018

お問合せ：日本弦楽指導者協会関東支部 事務局 03-3576-5230（宮下）

フランス民謡：キラキラ星変奏曲 鈴木鎮一編（荻野松宣 編曲）/ エルガー：弦楽セレナード、
カタルーニャ民謡 /カザルス：鳥の歌（前川泉編曲）/ ヘンデル：メサイアより「ハレルヤ」（島根恵編曲） 他

---

3 火

公演予定

主催公演

7 土 15:00

ホールアドバイザー 秋山和慶 & 佐山雅弘企画

オーケストラで楽しむ映画音楽IX

指揮：秋山和慶　ピアノ：佐山雅弘　ゲスト：May J.、中井智彦　ナビゲーター：中井美穂　管弦楽：東京交響楽団
スマイル ～「モダン・タイムス」、酒とバラの日々、Calling you、アラビアのロレンス、美女と野獣、アナと雪の女王、パイレーツ・オブ・カリビアン 他

---

8 日 11:00 / 14:30

キッズプログラム

～0歳からのオーケストラ～ ズーラシアンブラス meets 東京交響楽団

指揮：水戸博之、オカピ　金管五重奏：ズーラシアンブラス　管弦楽：東京交響楽団

お問合せ：TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

---

14 土 13:30

ミューザ川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2018前期

「ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全曲Ⅱ」堤剛＆仲道郁代 デュオ・リサイタル

チェロ：堤 剛　ピアノ：仲道郁代
【オール・ベートーヴェン・プログラム】チェロ・ソナタ第3番 イ長調 / チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 / チェロ・ソナタ第5番 ニ長調

お問合せ：神奈川芸術協会 045-453-5080

---

15 日 14:00

東京交響楽団 川崎定期演奏会 第65回

お問合せ：TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

指揮：ジョナサン・ノット
マーラー：交響曲第10番からアダージョ / ブルックナー：交響曲第9番

共催公演

19 木 11:00

～尊い個性を愛するために～

第16回 ジェイミーのコンサート

ピアニスト小川典子が自閉症者とそのご家族に贈る特別なひととき

会場：ミューザ川崎シンフォニーホール 市民交流室

ピアノ：小川典子 【特別講演】一般社団法人 川崎市自閉症協会 代表理事 明石洋子 【特別展示】「心画」瀬崎竜彦
モーツァルト：ピアノ・ソナタ第11番「トルコ行進曲つき」/ ジョセフ・フィプス：「ジェイミーのコンサート」に捧ぐ（仮題・世界初演）/ ショパン：ピアノ・ソナタ第2番「葬送行進曲つき」

---

21 土 13:45

ヴァールシャインリヒ シンフォニカー 第10回 演奏会

お問合せ：w.symphoniker@gmail.com

指揮：吉川 清　ソプラノ：田中綾乃　アルト：由比昌子　テノール：鏡貴之　バリトン：古澤利人　オルガン：永瀬真紀　合唱：ヴァールシャインリヒ コア
A.ブルックナー：交響曲第9番ニ短調（ハース版）/ A.ブルックナー：テ・デウム ハ長調

主催公演

22 日 14:00

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第136回

指揮：ジョナサン・ノット　ファゴット：福井蔵（東京交響楽団首席奏者）
ロッシーニ：歌劇「絹のはしご」序曲 / ロッシーニ：ファゴット協奏曲 / シューベルト：交響曲第6番

主催公演

25 水 12:10 / 19:00

JFE Presents / MUZAランチタイムコンサート4月　JFE Presents / MUZAナイトコンサート60

新ホールオルガニスト就任記念！

パイプオルガン：大木麻理（新ホールオルガニスト）、近藤 岳
Ch=M.ヴィドール：オルガン交響曲 第5番 より「V.トッカータ」/ サン=サーンス（近藤岳編曲）：交響曲 第3番「オルガン付き」より 第2部 マエストーソ（オルガン連弾） 他

主催公演

28 土 11:00

モーツァルト・マチネ 第33回

指揮：高関 健　管弦楽：東京交響楽団
＜オール・モーツァルト・プログラム＞ 行進曲K.335 第1番 / セレナード 第9番 ニ長調 K.320「ポストホルン」/ 行進曲 ニ長調 K.335 第2番

---

29 日・祝 14:00

町田フィルハーモニー交響楽団 第86回 定期演奏会

お問合せ：町田フィルハーモニー交響楽団 mpso1804@grace.ocn.ne.jp

指揮：松下京介
モーツァルト：歌劇「後宮からの誘拐」序曲 / プロコフィエフ：組曲「三つのオレンジへの恋」/ リムスキー=コルサコフ：交響組曲「シェヘラザード」

---

30 月・休 13:30

水星交響楽団 第57回 定期演奏会

お問合せ：水星交響楽団 090-1608-5749（植松）

指揮：齊藤 栄一　ゲスト・コンサートマスター：西江 辰郎
バーンスタイン：ウェストサイド・ストーリーより『シンフォニック・ダンス』/ マーラー：交響曲第7番

MUZA KAWASAKI SYMPHONY HALL

お問い合わせ：ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター
Tel.044-520-0200（10:00-18:00）

ミューザ川崎シンフォニーホール
川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅西口直結

東海道かわさき宿交流館
TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN

休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

第3回
「講談de交流」

フレッシュで今時な講談師を激励し、一緒に精進を応援していきましょう。
今回は、前座 田辺凌天さん、二ツ目 田辺一乃さんです。お楽しみに！

日時：**4月18日（水） 14時開演（13時30分開場）**
料金：無料
定員：先着80名（自由席・事前予約不要）
会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室
出演：前　座／田辺凌天（たなべりょうてん）
　　二ツ目／田辺一乃（たなべかずの）

田辺凌天

田辺一乃

第31回 江戸時代の粋に遊ぶ
「民謡の技芸あれこれ」

外国人初のプロの日本民謡家。民謡を中心に踊り、三味線、太鼓などの技芸もお楽しみいただけます。また、伝統芸能の魅力なども語って頂きます。

日時：**4月21日（土） 14時開演（13時30分開場）**
料金：1,500円（税込）
定員：先着80名（自由席・事前予約不要）
会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室
出演：モード・アルシャンボー（Maud Archambault）

プロフィール
モード・アルシャンボー
(Maud Archambault)

カナダ・ケベック州出身、モントリオール大学卒業後、2001年、日本文化に興味を持ち単身来日。2002年、村松喜久則、京極加津恵両師に師事して、民謡の唄、三味線、鳴り物を研鑽。陸奥の家喜美栄、新見幸子師等に民謡舞踊の薫陶を受け、2014年、（一社）日本民謡プロ協会に入会し、外国人初の民謡舞踊家となり、全国的にプロ活動中。日本文化をこよなく愛し、和食を好み、和服を着こなし浴衣も縫える「日本人よりも日本人らしい特異な外国人」としてNHKテレビ「日本民謡フェスティバル」の司会や国際放送の「NHKワールドTV」を始め、国内外の各マスメディアに度々採り上げられ、日本民謡を世界に発信中。今後、国際感覚溢れた民謡人としての活躍が期待されている。

展示－宿場時代の川崎（2階）
江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。

展示－江戸から現代へ（3階）
明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット（川崎市公共施設利用予約システム）にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321　FAX.044-280-7314
http://www.kawasakishuku.jp/
【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅東口より徒歩10分

川崎の近代化と鉄道

川崎区誌研究会、川崎区図書館、川崎市文化財団が合同で毎年開催している川崎をテーマとした展覧会。京急創立120周年を迎えた今年は、京急大師線沿線の発展と川崎の近代化をテーマとした写真展を開催しました。

1899年、川崎（六郷橋）と大師を結ぶ約2キロのコースに電気鉄道が敷設され、京浜急行電鉄が産声をあげました。この電力を供給するために建てられた変電所が、川崎の工業地帯形成の大きな下地となりました。

当時の駅舎や車両などの写真や、開業当時のポスターなど、217点の資料が会場を飾り、過去の大師線沿線風景を映した映像も公開。会期中は500人以上の人が訪れました。

【お客さまの声より】

- 120年の歴史が一目でわかる川崎ならではの写真展。京急電鉄の写真の提供も数多く、協力の熱意が感じられた。（60代／男性）
- 懐かしい展示品に感動し、かつ昔の物をよく保存していることに感心しました。今94歳ですが、生きていてよかったと思いました。（90代／男性）
- 自称鉄道ファンですが、今までみたことのない画像がとても多く、遠路来た甲斐がありました。（60代／男性）
- 5歳の息子と来ました。大好きな京急の写真がたくさんありとても喜んでいました。自分の住む地域の歴史に興味を持たせる良い機会になりました。（40代／女性）

（1月30日～2月4日 アートガーデンかわさき）

第2回「講談de交流」

「講談de交流」は、前座さんと二ツ目さんを激励しようという企画です。

今回、前座は田辺いちかさん、二ツ目は田辺銀冶さんにお越しいただきました。まず初めに、銀冶さんから。明治中期が舞台の「三泥棒出会い」。お次は、いちかさんの「湯水の行水」。三方ヶ原の前夜、武将の鳥居忠広と成瀬正義が喧嘩するお話。休憩をはさみ、最後に再び銀冶さんの登場。川崎にゆかりのある坂本九が歌った名曲「上を向いて歩こう」を題材にしたもので、作曲家の中村八大を中心に、坂本九、作詞家の永六輔、ナベプロ創立者の渡辺晋を交えた面白おかしいお話でした。講談はなにも歴史物だけではないんですね。こういった最近の人物をテーマにしたものもあるんだと親しみを感じました。

次回は、4月18日（水）14時からです。お楽しみに。

（2月7日 東海道かわさき宿交流館）

江戸時代の粋に遊ぶ その30「能楽」

江戸時代の粋に遊ぶシリーズ、今回は「能楽」です。喜多流の粟谷明生さんにお越しいただきました。

まずは能の歴史のお話から。能には「観世流」、「宝生流」、「金春流」、「金剛流」、「喜多流」の5つあります。しかし、江戸時代に入るまでは、「四座一流（しざいちりゅう）」といって、喜多流は入っていませんでしたが、2代目将軍徳川秀忠時代になると「喜多流」も入り一流設立を認められたということです。

説明のあとに素踊りで「高砂」と「八島」の一部を踊って頂きました。また実際に、能面と扇を持ってきて下さり、第2部の体験コーナーではお客さんの中から代表者に能面を付けたり、扇を持って簡単な身振りとすり足の仕方を教わりました。最後に全員で粟谷さんの指導のもと「高砂」を歌いました。お話が非常にわかりやすく、見ごたえのある2時間でした。

次回は、4月21日（土）14時から「民謡」を行います。出演者は、モード・アルシャンボーさんというカナダ人の女性です。外国人初のプロの民謡家で、日本の文化にも大変造詣の深い方です。村松喜久則先生のお弟子さんで、NHKなどにも多数出演しています。民謡だけでなく踊り、三味線、太鼓などの技芸もお楽しみいただけます。また。外国人からみた伝統芸能の魅力なども語っていただきます。どうぞお楽しみに。

（2月17日 東海道かわさき宿交流館）

平成29年度 パラアート推進公募型事業委託

障害のある人もない人も共に文化芸術活動に取り組むためのモデルとなる事業を発掘し、事業の成果を先行事例として広く発信することを目的に、公募した4団体に事業を委託しました。

「パラアート地域交流サロン」開設基盤構築事業

「コンサート奏」 11月23日（木・祝）〈川崎授産学園〉
（委託先）一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

障害を持った方々と地域居住者による音楽演奏会には、地域の方等が自由に参加し、約200名が音楽を奏でたり、歌ったり、踊ったり、語ったり思い思いの時間をゆったりと過ごしました。

インクルーシブダンスプロジェクト We Ballet!

「ダンスレッスン」12月3日（日）〈昭和音楽大学〉
（委託先）公益財団法人 スターダンサーズ・バレエ団

参加者11名は、バレエのコンセプトやリズムを使って踊ることの楽しさを体験しながら、いっしょにからだを動かして、自分を表現していました。

アートを通したワークショップで障害者と健常者が交流する事業

「いろとおとの体験」1月28日（日）〈カフェイズミ〉
（委託先）THE アート・プロジェクト 多文化読み聞かせ隊

参加者は、いろとおとの体験ということで、水彩のぬらし画法により、三原色の混ざりあう瞬間を感じ、楽しんだりしたあと、ハープのような弦楽器ライアーの繊細な響きの音を楽しみました。

宮前区障がい児の為の夢を叶えるチャレンジ教室＆同開催の為の実践講座

「ミュージックコース」2月7日（水）〈宮前市民館〉
（委託先）一般社団法人 canawell（カナウェル）

参加者は、ギタリストの講師の指導で、カホンやシェイカーなど、色々な楽器にふれながら、実際に音を出していっしょに演奏し、みんなで音楽を通して楽しみました。

50周年を迎える

ひとみ座 乙女文楽

人形浄瑠璃文楽から派生した伝統人形芝居である「乙女文楽」。男性が三人で一体の人形を操る「文楽」に対し、「乙女文楽」は女性一人の人形遣いによって演じられます。昭和初期に大阪で考案され、一人で操るために人形の仕組みと操り方にさまざまな工夫がなされています。女性ばかりで演じられる華やかな舞台も見どころの一つです。

「ひょっこりひょうたん島」でおなじみの人形劇団ひとみ座は、この「乙女文楽」を昭和42年から伝承しており、今回、結成50周年記念公演を行います。

「ひとみ座乙女文楽」創立時から一座をまとめる村上良子さん、中堅メンバーとして活躍する松本幸子さん、運営を行う現代人形劇センター理事長の塚田千恵美さんに、「乙女文楽」の魅力と今回の公演の見どころについてお話しを伺いました。

――「ひとみ座乙女文楽」結成の由来についてお聞かせください。

村上：日本の伝統的な人形遣いを学ぶことで芸の糧にしようと、勉強の意味で始めたのがきっかけです。「乙女文楽」の創始者である桐竹門造の直弟子である桐竹智恵子師匠が、大阪から神奈川県茅ケ崎市に移り住み、家族で興行していると聞き、指導を依頼しました。

今では世界中で公演を行っています。これまでに、アメリカ、ロシア、スペイン、インド、ほかにも多くの国に行きましたが、向こうの方たちの反応はすごいですよ。言葉がわからなくても、悲しい場面では涙を流して見てくださる。人間の情みたいなものが伝わるんですね。

―― 現代人形劇との違いは？

村上：役を演じるということに関しては同じです。私は「ひょっこりひょうたん島」で、魔女の「マジョリカ」役をやっていましたが、乙女文楽を演じるときと、全く同じ気持ちで演じていました。

技術に関しては、乙女文楽をやったおかげで、人形を遣う時の「間」と「呼吸」がそれまでと変わりました。日本の芸独特の緩急がつくようになったのは、やっぱり古典を勉強したおかげですね。

松本：台詞を言いながら人形を操作する現代人形劇と違って、乙女文楽は太夫が語るので私たちは人形操作に徹します。そういった形態の違いはありますが、通じるものがあると思います。

義太夫は古くから続いた芸能なので、芝居の作り方が洗練されています。間合いや呼吸など、多くのヒントをもらいながらやっています。

村上さんから指導を受ける松本さん

―― どのような活動を行っていますか。

松本：定期公演や全国からの依頼公演、そして海外公演、地元の病院や老人ホームでの公演、近隣の小学校への巡回公演、それと夏休みに小中学生を対象とした「乙女文楽教室」を全11回講座で毎年行っています。

村上：子どもたちは、教室を終えると見違えるようになります。靴のぬぎ方や足袋の履き方など礼儀作法から指導しますが、みな次の年になると私が言ったことを覚えていて、新しく入った子たちに的確に教えてくれるんですよ。これは嬉しいですね。演技についても仲間同士で「お前、それじゃ情が入ってないよ」と言っているから、ビックリしちゃう。

また、長く続ける子が多く、教室を終えたあとは修了生の会に入って、地域イベントなどの舞台が年に5回ほどあります。自分とは別の人物を人形で表現する。そこが魅力的で面白いんだと思います。

―― 今回の公演の見どころと、意気込みを。

松本：私たちにとって、今回の演目は大作です。登場人物も多く、豪族の反逆劇という骨太な物語を縦糸に、娘と父親の葛藤や、板挟みになった母親のやるせない気持ち、夫婦の切ない再会もあるお話です。

義太夫の語りだけでもすごい迫力です。人形の衣装も、村上を中心にみんなで新しく作っているんですよ。

塚田：このお芝居は文楽の古典中の古典ですが、ドラマとしては全く古くありません。この物語を現代の私たちがどう読んで、どう提示するかというのがポイントだと思います。多くのことを、文楽の方たちに教えていただく立場ですが、どう表現するかという意味では対等だと思っています。それが現代人形劇の役者が古典をやるという意味でもあると思うので、追求していきたいですね。

―― 乙女文楽の今後について、どのようにお考えですか。

村上：世界中の人に愛してもらえるような芝居を、団員にやってもらいたい。そのためには、大変な努力が必要です。嘘の芝居をやったら見捨てられてしまいます。真実の気持ちを込めれば、必ずお客さんが見てくれます。芸を磨くという意味でも、公演の機会をもっと増やしたいですね。

松本：乙女文楽は一人で遣うため、間合いやテンポがリアルで、親しみやすいというお声もあります。

文楽と言うと、少し身構えてしまう部分があるかと思いますが、まずはスタジオに足を運んでいただいて、身近に「乙女文楽」の魅力を知っていただければうれしいです。

公演概要 *Information*

結成50周年記念 第8回 乙女文楽 公演

［日時］**5/3**（木・祝）、**5/4**（金・祝）
両日開演 11:00／15:00

［会場］**ひとみ座第1スタジオ**
（川崎市中原区井田3-10-31）

［料金］前売 2,800円／当日 3,300円

［演目］「二人三番叟」
「奥州安達原」袖萩祭文の段

［出演］ひとみ座乙女文楽

［演奏］「奥州安達原」
前（浄瑠璃）竹本綾之助
（三味線）鶴澤津賀花
後（浄瑠璃）竹本越孝
（三味線）鶴澤寛也

［指導］故桐竹智恵子 ◇ 桐竹勘十郎

［チケットお申込み・お問い合わせ］
公益財団法人 現代人形劇センター
TEL 044-777-2228
URL http://www.puppet.or.jp/

アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

●掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
●各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □＝休館日

2018.4

		1 Sun	2 Mon	3 Tue	4 Wed	5 Thu	6 Fri	7 Sat	8 Sun	9 Mon	10 Tue	11 Wed	12 Thu	13 Fri	14 Sat	15 Sun	16 Mon	17 Tue	18 Wed	19 Thu	20 Fri	21 Sat	22 Sun	23 Mon	24 Tue	25 Wed	26 Thu	27 Fri	28 Sat	29 Sun	30 Mon	5/1 Tue
アートガーデンかわさき〈川崎区〉 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リバーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室	群炎美術協会 神奈川支部展 ～4月1日(日)																フォトクラブ川崎 写真展 4月17日(火)～22日(日)						第23回 放送大学写真クラブ写真展 4月24日(火)～29日(日・祝)							
	第2展示室	一線美術会 神奈川支部展 ～4月1日(日)									横浜書道学 校 書陵展 4月10日(火) ～15日(日)														個展 平林壮元 4月24日(火)～29日(日・祝)					
	第3展示室					英山会フォトクラブ 第29回 四季自然と花のある風景 写真展 4月3日(火)～8日(日)												写真同人「写歩楽」 第24回写真展「いつか度か何処かで」 4月17日(火)～22日(日)							新日美神奈川支部展 4月24日(火)～29日(日・祝)						
カフェマイム マイギャラリー〈幸区〉 幸区堀川町66-20 川崎市産業振興会館2F TEL. 548-4132 【休館日】日・月・祝				駄目おやじ ～こっそり展～ 切り絵、書、木彫り 4月3日(火)～10日(火)									『いのち咲く星』 パステルとヲシテアート展 4月12日(木)～18日(水)													帯で作るバッグの会 4月24日(火)～28日(土)					
ミューザ川崎シンフォニーホール 4F企画展示室〈幸区〉 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】4/16(月)						第25回記念秋水会書展 4月5日(木)～9日(月)																									
中原市民館市民ギャラリー〈中原区〉 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイタワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		グループフォト昴 写真展 ～4月4日(水)						幸みずえ会 絵画展 4月6日(金)～11日(水)						青の会 油絵展 4月13日(金)～18日(水)※16日休館							花友舞展 4月20日(金)～25日(水)							さがみ会写真クラブ 第22回写真展 4月27日(金)～5月2日(水)		
川崎市市民ミュージアム〈中原区〉 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】月曜日(ただし4月30日は開館)、5/1(火) **あそんでミュージアム！こどもステーション** 4月7日(土)～6月24日(日)のうち土日祝 (2F 企画展示室2・参加無料・一部有料)																															
高津市民館市民ギャラリー〈高津区〉 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		セイフウ会展 ～4月4日(水)						のびるの会 スケッチ展 4月6日(金)～11日(水)						久末フォートクラブ写真展 4月13日(金)～18日(水)※16日休館							多摩自然写真の会 写真展 4月20日(金)～25日(水)							フォトサークル宮前 写真展 4月27日(金)～5月2日(水)		
宮前市民館市民ギャラリー〈宮前区〉 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		アトリエどんぐり作品展2018 ～4月4日(水)						愉墨会 作品展示会 4月6日(金)～11日(水)						宮前市民サークル連絡会 みやまえJAM2018 4月13日(金)～18日(水)※16日休館							蘭の会 書道作品展 4月20日(金)～25日(水)							糸書道会 書道作品展 4月27日(金)～29日(日・祝)		
多摩市民館市民ギャラリー〈多摩区〉 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		中野島いこいの家 彩遊会 水彩画展示会 ～4月4日(水)												たま木版画 多摩木版画研究会 4月13日(金)～18日(水)※16日休館							春の多摩区文化祭 いけばな展 4月20日(金)～25日(水)									
川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉 多摩区枡形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)、4/17、4/18	企画展	有料 企画展「第21回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展 ～4月15日(日) 観覧料：一般700円、高校・大学生・65歳以上500円、中学生以下無料 ※常設展もあわせてご覧いただけます。																														
	常設展	有料 常設展「敏子さん、岡本太郎のこと教えて。」展 ～4月15日(日) 企画展観覧料に準ずる。																														
麻生市民館市民ギャラリー〈麻生区〉 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		クリアティブアート展 ～4月4日(水)						葉っぱの会 平和のメッセージ 絵本と原画展 4月6日(金)～11日(水)						ぐるうぷひょこり ぼくたち わたしたちの作品展 4月13日(金)～15日(日)							パレットゆり 第14回水彩画展 4月20日(金)～25日(水)							チェーン・オブ・フレンドシップ ウォーターカラーキルトの世界 and etc. 4月27日(金)～5月1日(火)		

有料 中井精也 鉄道写真展 笑顔 あふれる「ゆる鉄」ワールド(2F企画展示室1、アートギャラリー2)
4月7日(土)～6月24日(日) 観覧料：一般600円、65歳以上・大学生・高校生450円、中学生以下無料

大井川鐵道 田野口～駿河徳山

川崎ヒストリー展 ～川崎の鉄道～(2F アートギャラリー1)
4月7日(土)～6月24日(日)

鉄道模型ジオラマ展示(2F アートギャ ラリー3)
4月7日(土)～6月24日(日)

有料 企画展「岡本太郎の写真――採集と思考のはざまに」展
4月28日(土)～7月1日(日)
観覧料：一般800円、高校・大学生・65歳以上600円、中学生以下無料

有料 常設展「(仮)太陽の塔 誕生」展 4月19日(木)～7月1日(日)
観覧料：4月19日(木)～27日(金)一般500円、高校・大学生・65歳以上300円、中学生以下無料
4月28日(土)～7月1日(日)企画展観覧料に準ずる。

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／4月7日(土)～6月24日(日)

中井精也 鉄道写真展
笑顔あふれる「ゆる鉄」ワールド

いすみ鉄道 車内

小湊鐵道 高滝駅

- 会　場：2F企画展示室1、アートギャラリー2
- 観覧料：一般600円(480円)、
  65歳以上・大学生・高校生450円(360円)、
  中学生以下無料
  ※(　)内は20名以上の団体料金です。
  ※障害者手帳をお持ちの方およびその介護者は無料。

鉄道の車両だけにこだわらず、鉄道にかかわるすべてのものを被写体として独自の視点で鉄道を撮影し、「ゆる鉄」という新しい鉄道写真のジャンルを生み出した中井精也。鉄道ファンでない人でも、見た人誰もが思わず笑顔になる癒される写真です。

本展では、代表作であり、中井精也がライフワークとして毎日ウェブ上に鉄道写真を公開しているシリーズ「1日1鉄！」から約150点と、東日本大震災直後から2014年春に運行再開した三陸鉄道を、3年間通って撮影した「夢と希望の三陸鉄道」から約50点をご紹介します。

〈関連プログラム〉

■中井精也 ギャラリートーク＆サイン会／講演会＆サイン会

4/7(土)、5/5(土・祝)
- 各日11:00～12:00 ギャラリートーク＆サイン会
  [2F企画展示室1／要観覧券]
- 各日14:00～15:00 講演会＆サイン会[1F遊遥展示空間／参加無料]

＊講演会の内容は日によって異なります。
4/7…「鉄道写真入門」、5/5…「鉄道写真家になるには」
＊どちらも当日先着順の受付です。サインは1Fミュージアムショップで販売する中井精也の書籍に限ります。

～「中井精也 鉄道写真展」同時開催～

■川崎ヒストリー展 ～川崎の鉄道～

- 4/7(土)～6/24(日)／2F アートギャラリー1／観覧無料

川崎市内における鉄道のあゆみを、当時の資料や写真からご紹介します。

向ヶ丘遊園モノレール
昭和46(1971)年

■鉄道模型ジオラマ展示

- 4/7(土)～6/24(日)／2F アートギャラリー3／観覧無料

「鉄道模型ジオラマ制作ワークショップ」の受講生と、その講師陣(T-Trak Networkほか)による鉄道ジオラマを展示します。

■あそんでミュージアム！こどもステーション

- 4/7(土)～6/24(日)のうち土日祝／2F 企画展示室2／参加無料

ダンボール電車の乗り物や鉄道に関するワークショップで、「鉄道のある暮らし」について遊びながら学ぼう！
親子で楽しめる体験展示です。

＊コンテンツの一部は有料・年齢制限があります。詳細はチラシ・HPでお知らせします。

その他、「鉄道落語会」など関連イベント多数！詳細はHP・チラシをご覧ください。

映　画　上　映

- 料金：1プログラムにつき 一般600円／65歳以上・大学生・高校生500円／小中学生400円
  (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)
- 会場：1F映像ホール(定員270名)　※4月より午前の上映時間が「11:00～」に変更となります。

■鉄道のある風景 ～「中井精也 鉄道写真展」連携上映～

小津安二郎生誕100周年記念として作られた、山手線・京浜東北線・高崎線・都電荒川線の情景を活かした傑作「珈琲時光」をはじめ、「鉄道」が印象深く映される名作映画5作品を上映します。

- **蜂の巣の子供たち**　4月1日(日)11:00～／4月7日(土)14:00～
  1948年／モノクロ／35mm／86分／監督：清水宏／出演：島村俊作、夏木雅子、御庄正一
- **遠い一本の道**　4月1日(日)14:00～／4月14日(土)11:00～／4月21日(土)14:00～
  1977年／カラー／35mm／113分／監督：左幸子／出演：井川比佐志、左幸子、長塚京三
- **珈琲時光**
  4月7日(土)11:00～／4月14日(土)14:00～／
  4月22日(日)14:00～
  2003年／カラー／35mm／103分／
  監督：ホウ・シャオシェン／
  出演：一青窈、浅野忠信、小林稔侍

「珈琲時光」
©2003 松竹株式会社／
朝日新聞社／住友商事／
衛星劇場／IMAGICA

- **カルメン故郷に帰る**　4月8日(日)11:00～／4月15日(日)14:00～／4月21日(土)11:00～
  1951年／カラー／DCP／86分／監督：木下惠介／出演：高峰秀子、小林トシ子、佐野周二
- **彼岸花**　4月8日(日)14:00～／4月15日(日)11:00～／4月22(日)11:00～
  1958年／カラー／DCP／118分／監督：小津安二郎／出演：佐分利信、山本富士子、久我美子

中原区等々力1-2(等々力緑地内)　TEL. 754-4500　FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノクティ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休　館　日】月曜日(ただし4月30日は開館)、5月1日(火)
http://www.kawasaki-museum.jp/

● ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中！

ホームページ　Facebook　Twitter　Instagram

川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉 有料

4月17･18日は展示替えのため休館いたします。

企画展／開催中～4月15日(日)

「第21回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展
時代を創造する者は誰か！

第21回岡本太郎賞
さいあくななちゃん《芸術はロックンロールだ》

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で21回目をむかえる本賞では、558点の応募があり、厳正な審査を行いました結果、26名(組)が入選をはたしました。

21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧ください。

展覧会料金等　休館日：月曜日
料　金：一般700(560)円、
高校・大学生・65歳以上500(400)円、
中学生以下無料
※(　)は20名以上の団体料金
※常設展もあわせてご覧いただけます。

〈関連イベント〉

◆第21回TARO賞ギャラリートーク

第21回TARO賞入選作家による、ギャラリートークです。
- 4月1日(日)13:00～　大野修平、黒木重雄、橋本悠希、さいあくななちゃん、近藤祐史
- 4月15日(日)13:00～
  与那覇俊、黒宮菜菜、横山信人、吉田芙希子、○△□(まるさんかくしかく)

◆お手紙プロジェクト

鑑賞者の皆様の作品への感想などを共有する試み、「お手紙プロジェクト」。来館者に入選作家や作品に対してメッセージを書いてもらう企画です。
- 日時：2月16日(金)～4月15日(日)　● 場所：ギャラリースペース

企画展／4月28日(土)～7月1日(日)

予告「岡本太郎の写真
――採集と思考のはざまに」展

常設展／開催中～4月15日(日)

「敏子さん、岡本太郎のこと教えて。」

1947年頃、岡本敏子は岡本太郎に出会い、その後、公私にわたるパートナーとして、また、生涯太郎を支える存在として活躍しました。本展覧会では、「芸術家 岡本太郎」が、太郎その人自身だけでなく、敏子によっても大きく支えられていたことを紹介します。

旅行中の岡本太郎(左)と敏子(右)1957年

常設展／4月19日(木)～7月1日(日)

予告「(仮)太陽の塔 誕生」展

〈その他イベント〉

はいはい＆よちよち美術館ツアー

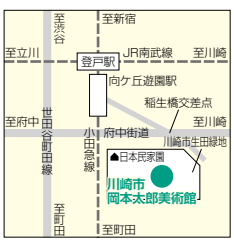
小さなお子さんとご家族のためのツアーです。太郎さんの作品を、お子さんと一緒にゆったりとお楽しみください。
- 日時：2018年4月11日(水)10:30～11:30
- 対象：3ヵ月～3才までのお子さんとご家族の方
- 定員：10組　● 場所：常設展示室　● 料金：無料(保護者のみ要観覧料)
- 申込：電話受付(3月21日 10:00～)・先着順

TARO鯉に挑む！

太郎さんが空を悠々と舞う鯉のぼりをつくりたいと「自分勝手に描いた」TARO鯉。今年で5回目をむかえます。皆さんも白い布地に思い思いに色を付け、自分のオリジナル鯉のぼりをつくって大空を泳がせてみませんか？
- 日程：4月22日(日)、4月29日(日・祝)、4月30日(月・振休)
- 時間：各日13:00～15:30　● 場所：常設展示室 創作アトリエ　● 料金：観覧料のみ
- 対象：小学生以上　● 募集人数：各日20名
- 申込方法：電話受付(4月4日10:00～)・先着順　● 展示期間：5月2日(水)～5月6日(日)(開館時)

※その他、関連イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
http://www.taromuseum.jp

多摩区枡形7-1-5　TEL.900-9898　FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ケ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休　館　日】月曜日
http://www.taromuseum.jp



● ホームページ、Facebookにて情報発信中

ホームページ　Facebook

川崎市アートセンター kawasaki ART center

アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
http://kawasaki-ac.jp/
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

文学座こどもげき

三匹のこぶた ～みんなでいっしょに劇づくり～

作：さいとうゆういち　　演出：高橋正徳

親子で楽しめるはじめての演劇体験！

創立80年の歴史を持つ劇団・文学座が「目の前で繰り広げられる生の演劇を楽しんでほしい。初めての演劇体験を幸福なものに」という願いをこめて贈る本作は、上演前にお芝居の中で使うアイテム作りをするなど、「観る」だけでなく「参加できる」公演です。

2018年4月29日（日・祝）～30日（月・振休）
※開場は開演の15分前

	29（日・祝）	30（月・振休）
11：00	●	●
14：00	●	

【出演者】鈴木亜希子、藤川三郎、頼経明子、斉藤祐一、大野香織、上川路啓志
【チケット】おとな1,500円／こども500円（全席自由・税込）※2歳以下入場不可

デフ・パペットシアター・ひとみ

森と夜と世界の果てへの旅

原作：エイモス・チュツオーラ著「やし酒飲み」
脚本：小池博史　　演出：くすのき燕

それは、遠くて、近い、誰かの、私の物語。

ナイジェリアの作家エイモス・チュツオーラの「やし酒飲み」を原作に、日本で唯一のろう者と聴者が共につくるプロの人形劇団が贈る、放蕩息子ジュジュマンのハラハラドキドキの冒険物語！

2018年5月5日（土・祝）～6日（日）13：00開演 ※開場は開演の30分前
【出演者】榎本トオル、末永 快、鈴木 文、鈴木香澄、やなせけいこ、善岡 修
【チケット】一般 2,000円／こども（4歳～中学生）1,000円（全席指定・税込）
※3歳以下入場不可。推奨年齢10歳以上。

青年座

江戸怪奇譚 ～ムカサリ

原作：藤沢文翁　　脚本・演出：金澤菜乃英

おかしくてコワイ、山路和弘ひとり語り

創作落語『ムカサリ』をもとに創りあげた本作は、時は元禄・江戸時代、裕福な商家に生まれたお咲と没落した旗本・佐伯一馬の物語。劇団入団40年の山路和弘が、落語の語りから始め、その演技力を駆使して江戸の怪奇譚に誘う一人芝居。

2018年5月12日（土）～13日（日）13：00開演
※開場は開演の30分前
【出演者】山路和弘　付け打ち・太鼓：井川 学
【チケット】一般3,500円／学生2,000円（全席指定・税込）
※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

チケット取扱い

[WEB]アルテリッカしんゆりチケットセンター http://www.artericca-shinyuri.com/
[TEL]アルテリッカしんゆりチケットセンター 044-955-3100（10：00～17：00）
[窓口]川崎市アートセンター（9：00～19：30、原則毎月第二月曜除く）　ほか

チケット好評発売中!!

お問合せ◉川崎市アートセンター　044-955-0107

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行っております。演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態でご利用頂くことが可能です。基本形式193席の客席を有し、3室可動間仕切りの楽屋や工房（舞台の道具作成や楽屋代わりとしてもご利用可）もございます。詳細はWEBまたは川崎市アートセンターまでお問い合わせください。

お問合せ：川崎市アートセンター TEL.044－955－0107　http://kawasaki-ac.jp

©2017 ASESORES Y PRODUCCIONES PABLO E. PEDOIA, MARCELO PINAFFO, LA CCC, KOMPLIZEN FILM, DOPPELGÄNGER FILM, SETEMBRO CINE, SILU AND LILLY PADA, PEDOIA

ナチュラルウーマン

Sebastián Lelio interview

セバスティアン・レリオ監督インタビュー

――『ナチュラルウーマン』であなたが映画監督として挑戦したかったことはなんでしょう？

この映画を観る人が、最終的にはマリーナと密接な絆を結んでくれればと思っています。なにを信じていようと、どんな価値観や世界観を持っていようと、マリーナをつぶさに見守ることによって、観客はマリーナと同じ目線に立つようになります。彼女に感情移入することで、彼女が生き延びて勝利するところを見たいと願うようになります。映画は、他者の気持ちを追体験したり、普段とは違った感情を抱いたりする機会を与えてくれます。それは、映画を観る人自身の中で起きます。映画は人生の教訓を教えてくれ、心を柔軟にしてくれます。困難の多い旅に、両手を広げて身を委ねてくれたらいいと思います。それと、なにか美しいものに触れたと感じてくれたら嬉しいです。

About the film

作品について

ナチュラルウーマン

2017年|チリ、アメリカ、ドイツ、スペイン|カラー|1h44
監督・脚本：セバスティアン・レリオ
出演：ダニエラ・ヴェガ、フランシス・レジェス、ルイス・ニェッコ

2018.3.31–4.13

ウェイトレスをしながらナイトクラブで歌うトランスジェンダーのマリーナ。ある日一緒に暮らしていた歳の離れた恋人が突然亡くなってしまったことから、思いがけないトラブルに巻き込まれ、容赦のない差別や偏見を浴びさせられることになってしまう。最愛の人を失った悲しみの中、理不尽な現実を乗り越え、自分らしく前進してゆこうとする主人公の姿を描いた感動のドラマ。マリーナを演じるのは、自身もトランスジェンダーの歌手である期待の新鋭、ダニエラ・ヴェガ。

（宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責＝川崎市アートセンター　協力＝アルバトロス・フィルム）

©2015 Zodiac Pictures Ltd / Clausen+Pute Filmproduktion GmbH / Studiocanal Film GmbH

ハイジ　アルプスの物語　〈吹替版〉

2015年｜スイス、ドイツ｜カラー｜1h51
監督：アラン・グスポーナー
出演：アヌーク・シュテフェン、ブルーノ・ガンツ、イザベル・オットマン

3.31-4.6

世界中で愛され続け、日本でもアニメーション化されている不朽の児童文学『アルプスの少女ハイジ』が本国スイスで完全実写化！主役のハイジ役には、500人の候補の中から選ばれ、これが映画デビューとなるアヌーク・シュテフェン。アルムおんじには、名優ブルーノ・ガンツ。

2017 (C) Proton Cinema - March Factory Productions - KNM

ジュピターズ・ムーン

2017年｜ハンガリー、ドイツ｜カラー｜2h08
監督：コーネル・ムンドルッツォ
出演：メラーブ・ニニッゼ、ゾンボル・ヤェーゲル、ギェルギ・ツセルハルミ

3.31-4.13

違法に国境を越えようとしたところ、銃撃され重傷を負った少年・アリアンは、運ばれた難民キャンプで医師・シュテルンと出会う。医療ミスによる訴訟で病院を追われていたシュテルンは、アリアンが実は重力を操り浮遊する等、超能力を持っていることを知ると、金儲けに使えるとキャンプから連れ出すが…。

© 2015, REPOSADO PRODUCCIONES SL, MEDIAPRODUCCION SLU

ロープ　戦場の生命線

2015年｜スペイン｜カラー｜1h46
監督：フェルナンド・レオン・デ・アラノア
出演：ベニチオ・デル・トロ、ティム・ロビンス、オルガ・キュリレンコ

3.31-4.13

1995 年、停戦直後のバルカン半島。死体が投げ込まれた為、生活用水が汚染されてしまった井戸から死体を引き上げるため、国際援助活動家たちが、あちこちに地雷が埋まる危険地帯を１本のロープを探し求めてさまようが、一人の少年との出会いがきっかけで、衝撃の真実と向き合うことになる…。

© TS PRODUCTIONS (PHOTO MICHAEL CROTTO)-AFRICHE NUITDECHINE

女の一生

2016年｜フランス｜カラー｜1h59
監督：ステファヌ・ブリゼ
出演：ジュディット・シュムラ、ジャン＝ピエール・ダルッサン、ヨランド・モロー

3.31-4.13

修道院の寄宿学校から家に戻った男爵家の一人娘ジャンヌ。親の勧めで子爵ジュリアンと結婚し、希望に胸躍らせていたのもつかの間、信じがたい夫の不貞を知ることになる。それを機に、ジャンヌの人生に対する夢は、次々と打ち砕かれていくー。文豪、モーパッサンの不朽の名作の映画化。

2017 (C) Proton Cinema - March Factory Productions - KNM

あなたの旅立ち、綴ります

2016年｜アメリカ｜カラー｜1h48
監督： マーク・ペリントン
出演：シャーリー・マクレーン、アマンダ・セイフライド、アン・ヘッシュ

4.7-4.20

ビジネスで成功した老婦人のハリエットは 80 代に入ってからは孤独と死への不安を感じていた。ある日、自身の訃報記事を生前に執筆する為、地元の若い新聞記者・アンに依頼する。理想の訃報記事を書く為、性格も正反対のふたりはぶつかり合いながらも、世代を超えた友情を築いてゆく。主演は大女優シャーリー・マクレーン。

©2017 Felt Film Holdings, LLC

ザ・シークレットマン

2017年｜アメリカ｜カラー｜1h43
監督・脚本・製作： ピーター・ランデズマン
出演：リーアム・ニーソン、ダイアン・レイン、ブルース・グリーンウッド

4.14-4.20／上映再開4.28-5.4

アメリカ合衆国史上初めて任期途中で辞任せざるを得なかったリチャード・ニクソン大統領。その引き金となった「ウォーターゲート事件」の「ディープ・スロート」と呼ばれる告発者であったことを 30 年目に明かした元 FBI 副長官マーク・フェルトの衝撃の実話の映画化。

©2016 Small Shack Productions Inc / Painted House Films Inc / Parallel Films (Maudie) Ltd.

しあわせの絵の具　愛を描く人　モード・ルイス

2016年｜カナダ、アイルランド｜カラー｜1h56
監督：アシュリング・ウォルシュ
出演：サリー・ホーキンス、イーサン・ホーク

4.14-4.27

小さな港町で、カナダの美しい四季と動物を色鮮やかに描き続けた画家モード・ルイス。そんな彼女を不器用ながらも献身的にサポートしたのが、魚の行商を営む夫のエベレット。孤独だった2人が運命的な出会いを経て、夫婦の絆と慎ましい幸せを手に入れてゆく姿を描いた実話の映画化。

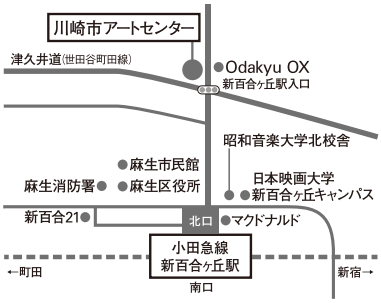
©MOVE MOVIE - STUDIOCANAL - NJ ENTERTAINMENT All Rights Reserved5

ゴーギャン　タヒチ、楽園への旅

2017年｜アメリカ｜カラー｜1h42
監督： エドゥアルド・デルック
出演：ヴァンサン・カッセル、マリック・ジディ

4.14-4.20／上映再開4.28-5.4

19 世紀を代表する画家ポール・ゴーギャン。パリで株式仲買人として働いていたが、絵画を本業とすることを決意し、最愛の妻と子供たちと別れ、わずかな資金を手にタヒチを訪れる。タヒチ時代の知られざる創作の秘密と愛の悲劇を描く。主演はヴァンサン・カッセル。



川崎市アートセンター

〒215-0004　神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1
Tel. 044-955-0107　Fax. 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp　http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩３分

◆映画のチケットは９：00 より受付にて販売
◆自由席、整理番号順入場、立見不可

毎月 第三火曜日のお楽しみ 2018 ラゾーナ寄席

第70回

2018年
4月17日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演
※当日券は18:00から販売します

■会　場…**ラゾーナ川崎プラザソル**
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
■出　演…**三遊亭遊之介・桂米多朗・瀧川鯉津・三遊亭遊七**
■入場料…全席自由2,000円
（終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円）
■予約・お問合せ／**ラゾーナ川崎プラザソル**
電話 044-874-8501　FAX 044-520-9151
E-mail：info@plazasol.jp　http://www.plazasol.jp

三遊亭遊之介

第43回 川崎大師 薪能
—TAKIGI-NOH—

～風薫る宵のうつろいとともに堪能する幽玄の世界～

かがり火を焚いて、幻想的な雰囲気の中で能・狂言を上演する「薪能」。
屋外の開放的な空間で、格式ある舞台を気軽に楽しむことができ、
初心者の方にもおすすめです。

［演目］
◆薪能法楽　大導師　貫首　藤田隆乗（大本山川崎大師平間寺）
◆仕　舞　「道明寺」　山階　彌右衛門
　　「井　筒」　観世　恭秀
◆狂　言　※後日発表
◆舞　囃　子　「熊野（村雨留）」　観世　清和
◆能　　「鵜　飼」　観世　芳伸
開演前17時より演目の見どころ解説を予定しています。
（解説：山階 彌右衛門）

［日時］平成30年 **5月22日(火)**
17時半開演（16時半開場）
［会場］**大本山川崎大師平間寺**
特設舞台
雨天時：信徒会館（※）
※雨天時は、会場スペースの都合により、S席チケット購入者のみのご入場とさせていただきます。

◆料金 **S席 6,000円**（区分指定・区分内自由／雨天時 信徒会館入場可）
A席 4,000円（区分指定・区分内自由／雨天時 払い戻し）※雨天時は信徒会館への入場はできません。
◆チケット発売日 **平成30年3月22日(木)10:00より**
◆チケット取扱 チケットぴあ　TEL：0570-02-9999[Pコード：485-018]自動音声ガイダンス　http://w.pia.jp/t/kawasakidaishi/
ミューザ川崎シンフォニーホール チケットセンター TEL：044-520-0200
他　市内各所プレイガイドにて販売。詳細は川崎市文化財団HPでご確認ください。http://www.kbz.or.jp/

Photo：平成29年度川崎大師薪能上演風景
能「羽衣」観世清和（撮影：前島吉裕）

主催◉川崎大師薪能実行委員会　共催◉公益財団法人川崎市文化財団、一般社団法人川崎市観光協会　後援◉川崎市、大本山川崎大師平間寺
お問い合わせ◉川崎市文化財団　川崎大師薪能係 TEL 044-222-8821

公益財団法人 川崎市文化財団
かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。
〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1（リバーク3F）
TEL.044(222)8821（代表）　FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成30年4月1日発行
川崎市文化財団　検索
◉印刷・製本／八幡印刷㈱ TEL.044-542-2311